当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2023年８月23日）	
運用方針	ＳＢＩ・インベスコQQQ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄（除く金融業）の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	ＳＢＩ・インベスコQQQ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド (ベビーファンド)	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年１回（毎年８月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

SBI Asset Management

運用報告書（全体版）

第３期

（決算日：2026年８月24日）

ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・ファンド（愛称：雪だるま(QQQ・NASDAQ100)）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＳＢＩ・インベスコQQQ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・ファンド（愛称：雪だるま（ＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００））」は、2026年８月24日に第３期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木１－６－１

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の９：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

https://www.sbiam.co.jp/

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2023年８月23日	10,000	－	－	10,000	－	－	300
１期(2024年８月22日)	13,143	0	31.4	13,246	32.5	98.7	4,316
２期(2025年８月22日)	15,715	0	19.6	15,913	20.1	99.1	7,445
３期(2026年８月24日)	21,287	0	35.5	21,687	36.3	99.7	15,208

(注１) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注２) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注３) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注４) ベンチマークはNASDAQ１００インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注５) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注６) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

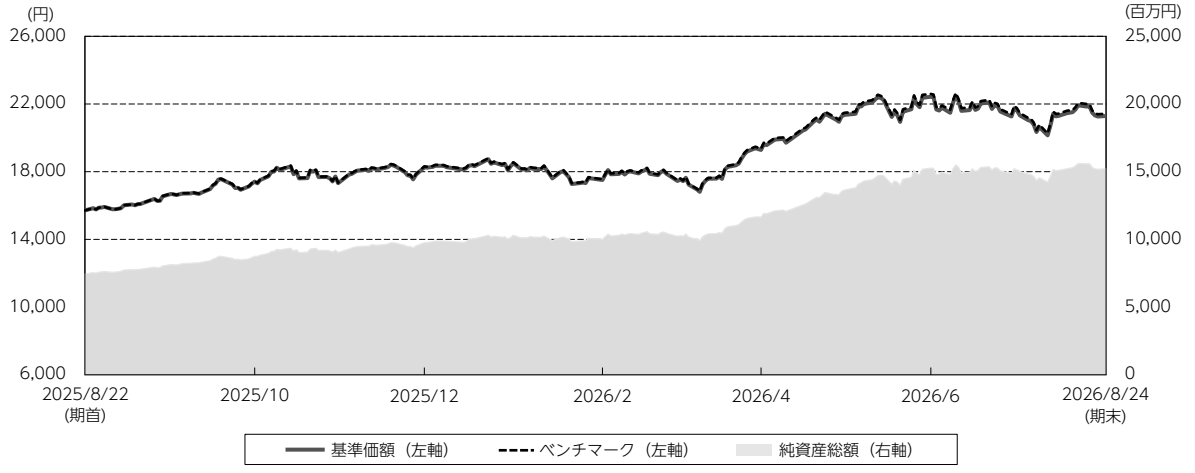
年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2025年８月22日	15,715	－	15,913	－	99.1
８月末	15,921	1.3	16,123	1.3	98.8
９月末	16,745	6.6	16,976	6.7	99.0
10月末	18,104	15.2	18,377	15.5	98.8
11月末	18,061	14.9	18,332	15.2	98.8
12月末	18,265	16.2	18,544	16.5	98.8
2026年１月末	18,171	15.6	18,461	16.0	99.0
２月末	17,841	13.5	18,116	13.8	99.1
３月末	16,806	6.9	17,058	7.2	98.6
４月末	19,933	26.8	20,274	27.4	99.0
５月末	22,000	40.0	22,414	40.9	99.6
６月末	22,081	40.5	22,512	41.5	99.4
７月末	20,639	31.3	21,037	32.2	99.3
(期末)					
2026年８月24日	21,287	35.5	21,687	36.3	99.7

(注１) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注２) ベンチマークはNASDAQ１００インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注３) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注４) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）
NASDAQ１００インデックスとは、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄（除く金融業）の時価総額加重平均によって算出される株価指数です。
なお、NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）は、NASDAQ１００インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年８月23日から2026年８月24日まで）

○基準価額等の推移



期　首：15,715円
期　末：21,287円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：　35.5％

（注１）ベンチマークは、NASDAQ100インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP１をご参照ください。
（注２）ベンチマークは、期首（2025年８月22日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
（注３）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
（注４）ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

・生成AI関連の設備投資拡大期待
・米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げを受けた投資家心理の改善
・主要ハイテク企業の良好な決算内容
・米国とイランの停戦協議進展による地政学リスクの一時的な後退
・新製品・新技術発表によるAI・半導体関連株への物色

下落要因

・AIバブルへの警戒感・AI投資の採算性への懐疑
・米国・イスラエルによるイラン攻撃を発端とした原油価格急伸
・利下げ観測の後退
・半導体関連企業の決算失望とAI過剰投資への警戒による資金ローテーション
・個別企業の急落を契機としたセンチメント悪化の波及

○投資環境

＜米国株式市場＞

当期のNASDAQ100は、生成AI関連の設備投資テーマを軸に、金融政策と地政学リスクの変化を受けて大きく上下する１年となりました。2025年８月から10月にかけては、FRBの利下げやAIインフラ投資拡大への期待を背景に上昇基調が続きましたが、11月以降はAIバブルへの警戒と利下げ期待の後退から投資家心理が悪化し、12月にはオラクル急落を契機に懸念が再燃しました。2026年に入ってもAI投資の採算性への疑念がくすぶる中、２月末の米国・イスラエルによるイラン攻撃を受けて地政学リスクが急速に高まり、３月には原油急伸とインフレ再燃懸念も重なって指数は一時23,000ポイントを割り込みました。しかし４月に米国とイランの停戦協議が進展すると投資家心理は急速に改善し、史上最高値を更新する反発局面に転じ、５月まで上昇が続きました。６月は雇用統計を受けた金融引き締め観測から一時急落したものの押し目買いで持ち直し、７月はTSMC決算を機にAI過剰投資への警戒から半導体株中心に下落しましたが、８月には値ごろ感からの買いが優勢となり、指数は史上最高値圏を回復しました。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は円安ドル高基調が継続した１年となりました。最大の要因は日米の金融政策格差です。FRBは2025年後半に利下げに転じ、日本銀行は利上げを進めたものの、日米金利差は引き続き大きく、ドル優位の構図が続きました。米国の堅調な雇用・消費が高金利を支え、日本の緩やかな正常化ペースから円キャリー取引の需要も根強く、円高は限定的でした。市場で利下げ終了観測が強まると円は再び弱含み、160円近辺まで下落する場面もありました。

2026年に入り、２月末の米国によるイラン攻撃を契機としたエネルギー価格上昇を受け、FRBは４会合連続で政策金利を据え置き、インフレ懸念からむしろ利上げ転換観測が浮上、ドル買い圧力が強まりました。６月上旬には再び160円近辺まで円安が進行し、７月下旬には１ドル＝163円台後半と約40年ぶりの円安水準を記録しました。

これを受け７月30日から31日、日米両政府は協調為替介入に踏み切り、ドル円は一時155円台まで急落しました。８月は157～159円台で神経質な値動きとなり、大規模な介入が実施されたものの、期末には再び159円台をつけ、円高へのトレンド転換には至らないまま期を終えました。

○当ファンドのポートフォリオ

＜当ファンド＞

主要投資対象であるＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

＜ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド＞

NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、インベスコ キャピタル マネジメント LLCが運用を行う「インベスコ NASDAQ 100 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

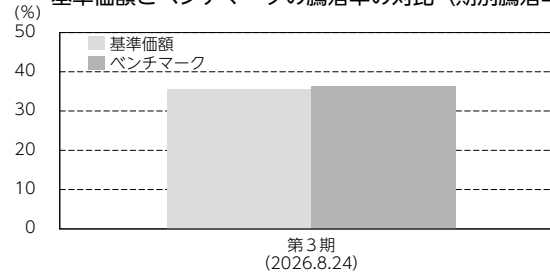
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.7%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は＋35.6%となり、ベンチマークである「NASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース)」の騰落率である＋36.3%を概ね0.7%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離)、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークはNASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP１をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第３期 2025年８月23日～ 2026年８月24日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	11,287

（注１）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注２）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜当ファンド＞

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄（除く金融業）の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

＜ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド＞

主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄（除く金融業）の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2025年８月23日～2026年８月24日）

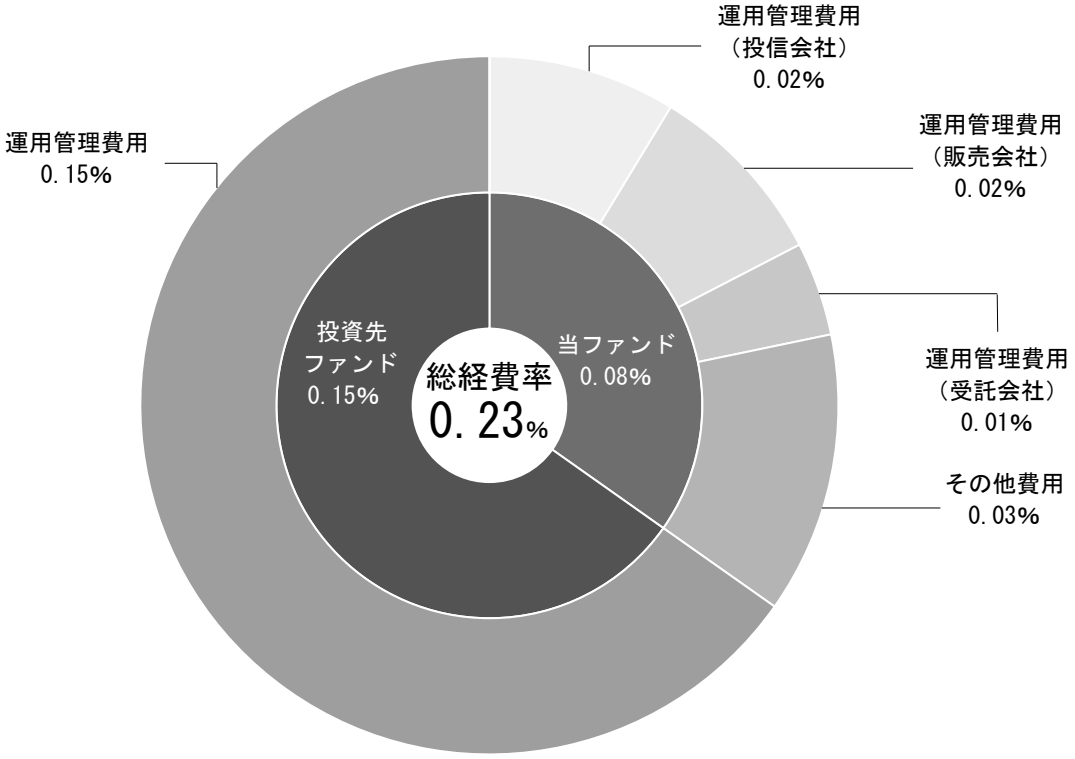
項　　目	当　　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信　託　報　酬	12	0.064	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投　信　会　社）	(　5)	(0.024)	委託した資金の運用の対価
（販　売　会　社）	(　5)	(0.024)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(　3)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ　の　他　費　用	5	0.026	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(　2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(　1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印　　刷）	(　2)	(0.008)	開示資料等の作成・印刷費用等
合　　計	17	0.090	
期中の平均基準価額は、18,713円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注４）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は 0.23%です。**



総経費率（①＋②）	0.23%
①当ファンドの費用の比率	0.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
（注４）投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年８月23日～2026年８月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド	3,510,363	6,764,130	1,113,241	2,107,770

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月23日～2026年８月24日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月24日現在）

親投資信託残高

銘柄名	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド	4,729,519	7,126,641	15,213,241

（注）単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年８月24日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド	15,213,241	99.9
コール・ローン等、その他	15,458	0.1
投資信託財産総額	15,228,699	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（15,098,419千円）の投資信託財産総額（15,331,468千円）に対する比率は98.5%です。
（注３）外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、８月24日における円換算レートは、１ドル＝158.81円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年８月24日現在）

項目	当期末
(A)資産	15,228,699,848円
コール・ローン等	18,123
SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド（評価額）	15,213,241,725
未収入金	15,440,000
(B)負債	20,241,767
未払解約金	15,428,975
未払信託報酬	4,150,152
その他未払費用	662,640
(C)純資産総額（A－B）	15,208,458,081
元本	7,144,351,527
次期繰越損益金	8,064,106,554
(D)受益権総口数	7,144,351,527口
１万口当たり基準価額（C／D）	21,287円

＜注記事項（運用報告書作成時には監査未了）＞
（貸借対照表関係）

期首元本額	4,737,484,039円
期中追加設定元本額	3,522,139,909円
期中一部解約元本額	1,115,272,421円

○損益の状況（2025年８月23日～2026年８月24日）

項目	当期
(A)配当等収益	7円
受取利息	7
(B)有価証券売買損益	2,821,085,213
売買益	3,102,778,935
売買損	△ 281,693,722
(C)信託報酬等	△ 8,676,739
(D)当期損益金（A＋B＋C）	2,812,408,481
(E)前期繰越損益金	1,008,224,658
(F)追加信託差損益金	4,243,473,415
（配当等相当額）	（ 1,271,278,476）
（売買損益相当額）	（ 2,972,194,939）
(G)計（D＋E＋F）	8,064,106,554
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	8,064,106,554
追加信託差損益金	4,243,473,415
（配当等相当額）	（ 1,273,821,763）
（売買損益相当額）	（ 2,969,651,652）
分配準備積立金	3,820,633,139

（注１）損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）計算期間末における費用控除後の配当等収益（48,982,689円）、費用控除後の有価証券等損益額（2,763,425,792円）、信託約款に規定する収益調整金（4,243,473,415円）および分配準備積立金（1,008,224,658円）より分配対象収益は8,064,106,554円（10,000口当たり11,287円）ですが、当期に分配した金額はありません。

NASDAQ１００指数（配当込み、円換算ベース）は、Nasdaq-100 Indexをもとに、委託会社が計算したものです。本ファンドは、Nasdaq, Inc.またはその関連会社（Nasdaq, Inc.、その関連会社と共に「Nasdaq社」と総称します。）によって、支援、承認、販売または促進されるものではありません。Nasdaq社は、本ファンドに関する記述および開示の合法性、適合性、正確性または妥当性を保証するものではありません。Nasdaq社は、本ファンドの投資者または公衆一般に対して、本ファンドへの投資の推奨およびNasdaq-100 Indexの一般的な株式市場への追随可能性に関して、明示的または黙示的を問わず、表明または保証も行いません。SBIアセットマネジメント株式会社とNasdaq社の関係は、Nasdaq®、Nasdaq-100 Index®およびQQQの商標登録およびNasdaq社の一定の商号の使用を許諾すること、ならびにSBIアセットマネジメント株式会社または本ファンドとは無関係にNasdaq社が決定、構築および算出を行うNasdaq-100 Indexの使用の許諾に限られます。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexの決定、構築および計算を行う際に、SBIアセットマネジメント株式会社および本ファンドの投資者の要望を考慮するものではありません。Nasdaq社は、本ファンドの発行タイミング、価格、数量、および本ファンドの換金に関する計算方法について責任を負わず、また関与しません。Nasdaq社は、本ファンドの管理、マーケティングまたは取引について責任を負いません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexに含まれるデータの正確性および中断のない計算を保証するものではありません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexに含まれるデータを利用して、SBIアセットマネジメント株式会社、本ファンドの投資者およびその他のいかなる個人および団体に生じた結果に関して、明示的または黙示的を問わず、保証を行いません。Nasdaq社は、明示的または黙示的を問わず保証を行わず、かつ、Nasdaq-100 Indexまたはその中に含まれるデータの使用に関する特定の目的に対する商品性または適合性について、明示的な全ての保証を否認します。先述の内容に限らず、Nasdaq社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的もしくは間接的な損害について、当該損失の可能性について通知されたとしても、一切の責任を負いません。

第３期　運用報告書

（決算日　2026年８月24日）

ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・マザーファンドの第３期（2025年８月23日から2026年８月24日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）と連動する投資成果を目標として運用を行います。
主要投資対象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率		
（設定日）	円	%		%	%	百万円
2023年８月23日	10,000	－	10,000	－	－	300
１期(2024年８月22日)	13,158	31.6	13,246	32.5	98.6	4,318
２期(2025年８月22日)	15,747	19.7	15,913	20.1	99.1	7,447
３期(2026年８月24日)	21,347	35.6	21,687	36.3	99.7	15,213

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
（注３）ベンチマークは、NASDAQ１００インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
（注４）ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（期首）	円	%		%	%
2025年８月22日	15,747	－	15,913	－	99.1
８月末	15,954	1.3	16,123	1.3	98.8
９月末	16,780	6.6	16,976	6.7	99.0
10月末	18,144	15.2	18,377	15.5	98.8
11月末	18,102	15.0	18,332	15.2	98.8
12月末	18,307	16.3	18,544	16.5	98.7
2026年１月末	18,214	15.7	18,461	16.0	99.0
２月末	17,885	13.6	18,116	13.8	99.1
３月末	16,849	7.0	17,058	7.2	98.6
４月末	19,984	26.9	20,274	27.4	99.0
５月末	22,058	40.1	22,414	40.9	99.5
６月末	22,140	40.6	22,512	41.5	99.3
７月末	20,696	31.4	21,037	32.2	99.3
（期末）					
2026年８月24日	21,347	35.6	21,687	36.3	99.7

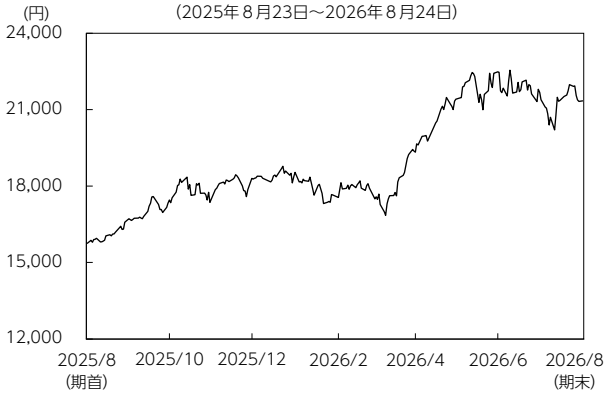
（注１）騰落率は期首比です。
（注２）ベンチマークは、NASDAQ１００インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
（注３）ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク：NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）
NASDAQ１００インデックスとは、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄（除く金融業）の時価総額加重平均によって算出される株価指数です。
なお、NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）は、NASDAQ１００インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年８月23日から2026年８月24日まで）

○基準価額等の推移

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は期首15,747円から始まったあと、期末には21,347円となりました。期を通じて騰落率は＋35.6％となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2025/８/22	2026/７/１	2025/８/22	2026/８/24
基準価額（円）	15,747	22,550	15,747	21,347

○投資環境

＜米国株式市場＞

当期のNASDAQ100は、生成AI関連の設備投資テーマを軸に、金融政策と地政学リスクの変化を受けて大きく上下する１年となりました。2025年８月から10月にかけては、FRBの利下げやAIインフラ投資拡大への期待を背景に上昇基調が続きましたが、11月以降はAIバブルへの警戒と利下げ期待の後退から投資家心理が悪化し、12月にはオラクル急落を契機に懸念が再燃しました。2026年に入ってもAI投資の採算性への疑念がくすぶる中、２月末の米国・イスラエルによるイラン攻撃を受けて地政学リスクが急速に高まり、３月には原油急伸とインフレ再燃懸念も重なって指数は一時23,000ポイントを割り込みました。しかし４月に米国とイランの停戦協議が進展すると投資家心理は急速に改善し、史上最高値を更新する反発局面に転じ、５月まで上昇が続きました。６月は雇用統計を受けた金融引き締め観測から一時急落したものの押し目買いで持ち直し、７月はTSMC決算を機にAI過剰投資への警戒から半導体株中心に下落しましたが、８月には値ごろ感からの買いが優勢となり、指数は史上最高値圏を回復しました。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は円安ドル高基調が継続した１年となりました。最大の要因は日米の金融政策格差です。FRBは2025年後半に利下げに転じ、日本銀行は利上げを進めたものの、日米金利差は引き続き大きく、ドル優位の構図が続きました。米国の堅調な雇用・消費が高金利を支え、日本の緩やかな正常化ペースから円キャリー取引の需要も根強く、円高は限定的でした。市場で利下げ終了観測が強まると円は再び弱含み、160円近辺まで下落する場面もありました。

2026年に入り、２月末の米国によるイラン攻撃を契機としたエネルギー価格上昇を受け、FRBは４会合連続で政策金利を据え置き、インフレ懸念からむしろ利上げ転換観測が浮上、ドル買い圧力が強まりました。６月上旬には再び160円近辺まで円安が進行し、７月下旬には１ドル＝163円台後半と約40年ぶりの円安水準を記録しました。

これを受け７月30日から31日、日米両政府は協調為替介入に踏み切り、ドル円は一時155円台まで急落しました。８月は157～159円台で神経質な値動きとなり、大規模な介入が実施されたものの、期末には再び159円台をつけ、円高へのトレンド転換には至らないまま期を終えました。

○当ファンドのポートフォリオ

NASDAQ１００インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、インベスコ キャピタル マネジメント LLCが運用を行う「インベスコ NASDAQ 100 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95％以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.7％となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は＋35.6％となり、ベンチマークである「NASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース)」の騰落率である＋36.3％を概ね0.7％下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離)、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

○今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄（除く金融業）の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2025年８月23日～2026年８月24日）

項　　目	当　　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料	－	－	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	－	－	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用	2	0.012	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(　2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合　　計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、18,759円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注３）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2025年８月23日～2026年８月24日）

投資信託証券

銘　　柄		買　　付		売　　付	
		口　数	金　額	口　数	金　額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	INVESCO NASDAQ 100 ETF	112,018	30,337	1,147	320
	小　　計	112,018	30,337	1,147	320

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月23日～2026年８月24日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月24日現在）

外国投資信託証券

銘柄名		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	円換算金額	
（アメリカ）		口	口	千ドル	千円	%
INVESCO NASDAQ 100 ETF		214,248	325,119	95,506	15,167,459	99.7
合計	口数・金額	214,248	325,119	95,506	15,167,459	99.7
	銘柄数＜比率＞	1	1	－	＜99.7%＞	

（注１）円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
（注２）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年８月24日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	15,167,459	98.9
コール・ローン等、その他	164,009	1.1
投資信託財産総額	15,331,468	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）当期末における外貨建て純資産（15,098,419千円）の投資信託財産総額（15,331,468千円）に対する比率は98.5%です。
（注３）外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、８月24日における円換算レートは、１ドル＝158.81円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年８月24日現在）

項目	当期末
(A)資産	15,416,265,981円
コール・ローン等	148,512,453
投資信託受益証券(評価額)	15,167,459,911
未収入金	84,797,811
未収配当金	15,492,777
未収利息	3,029
(B)負債	203,201,964
未払金	187,761,964
未払解約金	15,440,000
(C)純資産総額(A－B)	15,213,064,017
元本	7,126,641,554
次期繰越損益金	8,086,422,463
(D)受益権総口数	7,126,641,554口
１万口当たり基準価額(C／D)	21,347円

＜注記事項（運用報告書作成時には監査未了）＞

（貸借対照表関係）

期首元本額	4,729,519,582円
期中追加設定元本額	3,510,363,009円
期中一部解約元本額	1,113,241,037円

期末における元本の内訳

ＳＢＩ・インベスコＱＱＱ・ＮＡＳＤＡＱ１００インデックス・ファンド 7,126,641,554円

○損益の状況　（2025年８月23日～2026年８月24日）

項目	当期
(A)配当等収益	49,455,956円
受取配当金	48,475,297
受取利息	980,659
(B)有価証券売買損益	3,060,911,293
売買益	3,060,914,070
売買損	△ 2,777
(C)その他費用	△ 1,282,590
(D)当期損益金（A＋B＋C）	3,109,084,659
(E)前期繰越損益金	2,718,099,776
(F)追加信託差損益金	3,253,766,991
(G)解約差損益金	△ 994,528,963
(H)　計　（D＋E＋F＋G）	8,086,422,463
次期繰越損益金（H）	8,086,422,463

（注１）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注２）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注３）損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
インベスコ NASDAQ １００ ETF	米国株式	NASDAQ１００インデックス	0.15%	インベスコ キャピタル マネジメント LLC

組入上位10銘柄	比率
NVIDIA Corp	7.6%
Apple Inc	6.7%
Alphabet Inc	6.3%
Micron Technology Inc	5.6%
Microsoft Corp	4.4%
Advanced Micro Devices Inc	4.1%
Amazon.com Inc	4.0%
Tesla Inc	3.3%
Intel Corp	3.0%
Broadcom Inc	2.8%

組入上位10業種	比率
テクノロジー	68.5%
一般消費財･サービス	16.4%
ヘルスケア	3.6%
電気通信サービス	3.5%
資本財･サービス	3.1%
生活必需品	2.0%
素材	1.3%
公益事業	1.1%
エネルギー	0.5%

出所：インベスコ キャピタル マネジメント LLCの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
（注）2026年６月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第３期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。